

【問題提起】第12分科会

第12分科会「薬と社会」

- ◇運営委員 菊池 環 (JA 長野県厚生連 佐久総合病院)
間 規子 (たくみ外苑薬局)
瑞慶覧 長海 (沖縄医療生協 沖縄協同病院)
- ◇助言者 宮地 典子 (無所属)

◇分科会趣旨／問題提起

今年は和歌山で、昨年同様に現地開催となります。この分科会「薬と社会」では、薬をとりまく問題や課題、取り組みなどを報告し合い、情報を共有して、一緒に話し合ってもらいました。今年も、テーマを持ち寄り、薬をとりまく情勢を、薬剤師や多くの立場の方々と一緒に考えていきたいと願っております。

2024年の幕開けは信じがたい災害で始まりました。奇しくも去年は震災から一回りの年であり、災害に対するシンポジウムも多く開催され、災害対策コーディネーター配置など取り組みがされつつありました。しかし、災害により、生活すること自体が困難となり、それが長引くことで、震災関連死など悲しい事態が止みません。健康で文化的な生活とはよく言ったもので、休める生活の場の確保は身体的、精神的だけでなく、療養において大事なことと感じ、薬を取り巻く情勢も、このこと（生活の場）に帰着していると感じます。患者さんはもちろんですが、国民の生活の場を守ることを意識した医療、薬剤師活動が、薬をとりまく様々な問題の解決への方向を見出させてくれるのではないかと考えます。

リード文で示した、薬剤師の偏在（病院薬剤師の不足）、医薬品供給問題、薬害問題など、国民にとってあるべき生活の場にどのような影響を及ぼしているのか、どのように解決していけるのか、考える場にできればと思います。



上記のような状況をふまえ、本分科会では下記に示すような幅広い分野での医療、介護における薬剤師活動、それらの現状と課題について活発に討論し、交流します。積極的なレポート報告と参加をお待ちしています。

- 1) 2024年度診療・調剤報酬改定
- 2) 薬剤師の偏在・病院薬剤師の不足
- 3) 医薬品供給問題
- 4) 医療・薬局におけるデジタル化
- 5) 薬害問題・HPVワクチン接種後被害、新型コロナワクチン接種後被害の現状
- 6) 他、医薬・薬業連携、ポリファーマシー、医薬品評価、医薬品承認問題など